

ありて

わたしの未来はわたしが創る

2019.3
18号

特集

男女が一緒になって 活躍できる社会を目指して……………p2

- ・女性防災士インタビュー
- ・企業主導型保育所
「高岡オフィスパーク なのはな保育園」インタビュー

- 高岡市の男女平等・共同参画推進の取り組み……………p6
- セピア色の写真から／山達 雅美さん……………p7
- センター活動登録団体紹介 ほか……………p8

発行／高岡市男女平等推進センター

〒933-0023 富山県高岡市末広町1-7
(ウイング・ウイング高岡6階)
電話／0766-20-1810 FAX／0766-20-1815
E-mail／gec@city.takaoka.lg.jp
ホームページ／
<http://www.city.takaoka.toyama.jp/gec/kurashi/kyodosankaku/center/index.html>



「ありて」は自分の力で問題を解決していくイギリスの童話「アリーテ姫の冒険」の主人公の名前です。

男女が一緒に becoming 活躍できる社会を目指して

基本目標 I

あらゆる分野において

男女が平等に参画できる環境づくり

大きな災害が多発する近年、災害予防や被災時・後、復興等、防災の全ての分野において、男女それぞれの視点を取り入れた対策の必要性が高まっています。今回は、地域防災における男女平等・共同参画について女性防災士と一緒に考えてみました。

平成30年も大雪、地震、大雨、台風など全国各地で発生した自然災害による被害が報道されました。高岡市でも7月や8月に大雨警報が発令され、避難所には付近の住民らが避難しました。

避難所では、多くの人が一時的ではありますがありますが、一緒に生活することから様々な問題が生じます。

過去の災害では多くの場合、男性が避難所運営を担っていたため、女性特有のニーズに配慮が行き届かず、女性の生活必需品の不足や授乳室、更衣室が無いなどの問題が発生し、災害時における女性の視点の必要性が明らかになりました。

また、災害がもたらすストレスにより他者への配慮が薄れ、避難所で

の暴力や性的被害なども報告されています。これら被害の多くは、女性

や子どもなど弱い立場の人が受けることが多く、通常でない環境下では、被災者・支援者のどちらもが被害者にも加害者にもなり得るのです。

誰もが安心して過ごせる避難所にするためには、あらゆる人への配慮が求められます。

そこで、地域で防災に関する啓発活動をされている女性防災士に、防災の分野での男女平等・共同参画についてお話を伺いました。

●防災士とは

自助、共助、協働を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待されるための十分な意識と一定の知識、技能を習得したことを、日本防災士機構が認証した人のこと。(日本防災士機構HPより)

女性防災士インタビュー



女性防災士
右：大坪久美子さん
左：佐野君子さん
(インタビュー)
大谷編集員、釣編集員

■防災士になったきっかけ

●東日本大震災は、私のふるさと福島にも甚大な被害を及ぼし、発災時からずっと「何かしたい」という気持ちばかりが大きくなっていました。そんな時、防災士資格や防災活動を行う団体(NPO法人Nプロジェクトひとみち・まち通称：Nプロ)のことを知り、市の危機管理室で防災士資格の詳細を聞き、「これだ」と思って資格を取得しました。(佐野)

●私が所属する団体(Nプロ)では、以前から男女共同参画の視点での

防災に関する様々な取り組みも行っていました。

そして東日本大震災時には他のNPO法人と連携し、高岡に避難してくる被災者の受け入れ窓口を担っていました。

この時の経験や地域での活動などから、これまでその多くを男性が担ってきた防災分野にも女性の視点が重要であることを実感し、資格を取得し、今後の活動につなげることにしました。(大坪)

■避難所における女性の視点

災害により日常が一変します。避難所では、多くの人が一緒に生活をしなければならず、日を追うごとに様々な問題が生じてきます。特に、女性や幼い子ども、介護を要する人などには、それぞれに応じた対応が必要となってきます。

そこで、避難所を運営する場合に必要なこととして、
◎子どもたちの精神的ケアを含む遊び場づくり

◎女性専用の物干し場・更衣室・授乳室の設置

◎生理用品・女性用下着の女性による配布

◎性犯罪を防ぐためのトイレの階を男女別にし、入り口を明るくする 等々

これらの具体的な事柄まで国の防災基本計画や避難所運営ガイドラインに記載されました。

これまで男性がほとんどを占めていた防災の分野にも、女性が決定の場に参画することで、幅広い視点からの備えができ、より安心できる避難所運営や復興にむけた活動ができるようになります。

■高岡市の女性防災士の現状

平成30年11月現在13名です。女性防災士が今後さらに活躍するためには、家族間での家事・育児の協力や行政との連携等、防災に関する会合や防災訓練に出かけやすい環境を作ることが必要です。消防団のように託児支援があると良いですね。

■今後の活動

◎私の住む博労町では空き家を利用した地域防災の拠点をづくりまします。この場所を「災害時の避難場所」など、どのように活用して

いくか、女性の視点も加え地域の人手とつての拠り所としての取り組みを続けていきたいと考えています。(佐野)

◎防災士資格を取得したことにより、私の住む地区・町内の防災会役員を依頼されました。災害時には、病気などの身体的な負担の他にストレスなどの精神的な負担による災害関連死も多いことから、生活の基盤となる避難所で少しでも快適に過ごせるよう、避難所運営の計画段階から関わり、考えていきたいです。

そして災害が起こった時には、誰もが助かり復興に向けて頑張ろうという気持ちになれるよう、被災者のサポートに努めます。

また、所属団体では地域で防災に関する啓発活動を行っており、平成30年度は防災ワークショップや防災講座を開催しました。防災講座では各地区から男女ともに多くの参加があり、それぞれの視点の重要性を認識することができました。今後も防災士会や行政と連携し、男女共同参画の地域防災体制づくりのサポートを進めていきます。(大坪)



防災講座の様子。みんなの力を活かし防災に取り組もうと一致団結しました。▼



▲防災ワークショップの様子。防災士の有資格者を交え、防災について意見を交換しました。

インタビューを終えて

●災害は身近なことであると感じました。家事、育児、介護など日常の生活は女性が担うことが多いので、災害に遭った時に女性防災士がいると心強いと思えました。

●女性防災士と聞いたとき、女性にしかできない特別なことがあるのではと考えましたが、お2人の話を聞き、防災には男女という視点だけでなく、あらゆる視点が必要であることが分かりました。

災害は決して他人事ではなく、私たちの身にも起きることであり、その時、専門の知識を持った防災士は私たちの力強い味方となります。

災害発生時には避難所の開設や運営管理、物資の供給、生活環境の整備など様々な場面において、あらゆる人のニーズを把握し対応していくことが必要となります。

そのような場面では女性の視点も重要であり、地域の防災計画や防災訓練の立案・実施時には、女性が積極的に参加し意見を出し合うことが求められます。そして、その視点を参加者全員で共有していくことが重要です。

災害発生時にも生活を安全に豊かにしていくために、女性の防災分野での活躍がますます期待されます。



基本目標Ⅱ

仕事と生活の調和が保たれ 男女がともに活躍できる環境づくり

少子高齢化社会の進展に伴い働き方の見直しが求められる中、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)が重要視されています。

今回は、「出産を経た女性が、仕事と生活(家事・育児等)の二者択一を迫られることなく働き続けるために」をテーマに、企業主導型保育所の取り組みを例に一緒に考えてみました。

平成28年2月実施の「高岡市男女平等・共同参画に関する意識・実態調査」では、仕事と家庭生活を両立していきたいという意識は、男性よりも女性に強く表れていました。

仕事をしながら子育てや介護、またそれら以外にも、趣味や自己啓発など個人の生活を充実させるワーク・ライフ・バランス(※1)を実現したいという意識が浸透してきたことが伺えます。

そこで、仕事と家庭生活の両立を実現するための多くの対策が求められます。

中でも出産後の女性が、仕事や趣味、地域活動などに参加するためには、保育所の確保が重要となります。

都会では、入園待機児童が増え、

そのことが女性の社会進出を阻む一因になっていることを受けて、「企業主導型保育事業(※2)」の取り組みが始まっています。

この企業主導型保育事業には、女性だけでなく全ての従業員が、結婚、妊娠、出産、子育て、介護など、それぞれのライフステージにかかわらず働き続けやすくなることその他に、地域の子どもを受け入れることで、入園待機児童の解消にも資するという地域貢献の側面もあります。

多様な働き方が増えている現在、従業員の働き方に応じて、延長・夜間・休日保育や短時間の利用など、多様で柔軟な保育サービスを提供できる企業主導型保育所の必要性は高まっており、このことは、高岡市においても同様です。

そこで、高岡市の企業団地に企業主導型保育所「高岡オフィスパークなのはな保育園」を開設した高岡オフィスパーク協議会会長の山口正志さんに、開設の経緯や状況、課題などについてお話を伺いました。



※1 ワーク・ライフ・バランス

「仕事と生活の調和」であり、働く全ての人が仕事と家庭生活、地域活動などを自らが希望するバランスで取り組むこと。それが個人の生活の充実や、企業や地域の活性化に繋がる。

※2 企業主導型保育事業

政府の助成を受け、平成28年4月1日以降、企業が主に働く人向けに作った認可外保育所の設置・運営事業。
複数の企業が共同で設置・利用することができるので、中小企業でも制度を利用しやすい。

高岡オフィスパーク なのはな保育園

- ⊗ 保育時間 7:30~19:00
- ⊗ 定員 12名(現在11名在籍)
- ⊗ 対象 0~3歳児
- ⊗ 設備 乳児スペース、保育室、遊戯室、医務室、調理室
- ⊗ 体制 保育士6名、看護師1名
- ⊗ 休園日 日曜日および年末年始
- ⊗ その他 体調不良児・一時預かり対応型保育
- ⊗ 保育料 34,000円/月



共同運営参加企業(※3)、運営支援企業(※4)、会員企業に勤める人は企業より助成あり。

企業主導型保育所
「高岡オフィスパーク」
なのはな保育園
インタビュー



高岡オフィスパーク協会 会長
東洋通信工業株式会社 会長
山口 正志さん
(インタビュー)
石塚編集員、井波編集員

■ 設立のきっかけ

高岡オフィスパーク内の企業は共通して「働き手の不足」という問題を抱えていたことから、高岡オフィスパーク協議会を通して、解決に向けた取り組み策について、各企業に調査しました。

調査の結果、

◎ オフィスパーク内に保育園をつくり、そこに子どもを預けることができれば、女性の働き手も増えるのではないかと。

◎ オフィスパーク内に保育園を整備することは、仕事と家庭の両立に配慮しているということであり、企業のイメージアップに

も繋がる。

という意見がありました。

子どもがいても安心して働ける環境づくりが、問題解決策の一つとなると考え協議を重ね、企業内保育園をつくることに決めました。

■ 運営

共同運営参加企業8社の負担金で運営しています。この中には、保育園対象児を持つ従業員がいない企業もありますが、パーク内で働く人のためならばと共同運営に参加した企業もあります。

保育業務は社会福祉法人みつば福祉会に、調理業務は社会福祉法人高岡南福祉会に委託しています。

■ 設置による効果

なのはな保育園のを知り、ここに子どもを預けて働きたいという人が何人もいます。

■ 今後の課題

地域の子どもの受け入れも行っていきますが、オフィスパーク内企

業の従業員のための枠を空けておく必要もあるので、その調整が課題です。



保護者の声

● オフィスパーク内に保育園があるため、子どもの体調が悪いときなど、すぐに顔を見られるので安心です。
● 0歳児を預かってくれるので、出産を経て早く仕事復帰したい人にとって、働きやすい環境になっていると思います。

インタビューを終えて

● 子どもが体調不良になった時には、看護師が医務室で対応するなど、園児の健康についての配慮がなされているところに感心しました。

● 園児の送迎に

は父親もよく来られるそうです。父親が園児を送迎し



育児に参加することで、家庭内にはまずまず一体感が生まれるのではないのでしょうか。

少子高齢化社会の進展による労働力不足が深刻な問題となっている現在、企業主導型保育所のような企業内の保育サービスの充実、出産を経た女性や子育て世代にとって、仕事と生活(家事・育児等)の両立や、企業にとって人手不足の解消へと繋がり、そこで働く全ての人に良い結果をもたらそうとしています。

男女が互いに責任を分かち合いながら家事・子育て・介護等に参画し、仕事と生活のバランスがとれ充実した生活を送ることができるよう、多様な働き方に応じた働きやすい環境づくりを社会全体で取り組むことが求められます。

※3 共同運営参加企業

- 代表企業1社(東洋通信工業(株))と参加企業7社(株)ウインディー、(株)エイテック、キョーリンリメディア(株)、塩谷建設(株)、(株)高岡南福祉会、(株)能作、(株)ミヤシゲテクノ

※4 運営支援企業

- (株)オーバル、(株)富山県産業高度化センター、文化シャッター高岡販売(株)

高岡市の男女平等・共同参画推進の取り組み

高岡市男女平等推進プラン(第2次)

高岡市では平成29年に「高岡市男女平等推進プラン(第2次)」を策定しました。

高岡市男女平等推進プラン(第2次)における基本目標

- ① あらゆる分野において、男女が平等に参画できる環境づくり
- ② 仕事と生活の調和が保たれ、男女がともに活躍できる環境づくり
- ③ 個人が尊重され、能力が発揮できる環境づくり
- ④ 計画の総合的な推進

特集ページでは、高岡市男女平等推進プラン(第2次)の基本目標1・2について、個人や事業所における男女が一緒になって活躍できる社会に向けた取り組みに着目してきましたが、みなさんいかがでしたでしょうか。

男女平等EXPO高岡 2018

災害が起きた！今こそ、考えよう ～心構えとみんなにやさしい避難所を～

高岡市の男女平等・共同参画に対する姿勢を市内外に発信し、男女平等・共同参画の実現に向けての機運を一層高めていくため、実行委員会が主体となり、市民や事業者、各界各層の団体と協働で毎年実施しています。

本年度は「働く女性の活躍推進」をキーワードに地域防災に関する講演とパネルディスカッションが行われました。

被災経験もあり支援活動もされている佐竹直子さんが「だれもが安心できる地域を～“もしも”を“いつも”に～」と題し、災害時における母子避難について、男女共同参画の視点で話されました。

パネルディスカッションでは佐竹さんがコーディネーターとなり、山本修一さん(ヤマヤ物産有限会社社長)、高木法子さん(Eネット代表)、山森久史さん(高岡市総務課危機管理室室長)をパネリストに迎え、これまでのそれぞれの活動や防災に対しての意見交換が行われました。



ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定

高岡市では、誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たす一方、子育て・介護・地域活動・自己啓発などの時間を持てる健康で豊かな生活ができる職場づくりに積極的に取り組む事業所を認定しています。これまでに52事業所を認定しました。

(平成31年1月末日現在)

(株)アキデザイン/福福岡福祉会/株イカイ硝子建材/エスエイチ株/株開進堂/角玄工業所/角技建工業/株協和総商/株グランテック/ケーズメタル株/株小泉製作所/幸塚汽力工業株/小間印刷株/株才高/株三共空調サービス/清水工業株/株商工レストラン/株翔南産業/昭和建設株/株せんだ/相互企画印刷株/角大開工業/角タイショウ/株大地/大砥運輸建設株/高岡ガス株/龍根工業株/田組株/竹澤工業株/株谷口/チエコペットクリニック/東洋通信工業株/角仁光園/西村工業株/株日東/株早木工業/富士コンテクノ/株/フジサワ電機株/株フジタ/株穂明コーポレーション/ホクセイプロダクツ株/北陸エレコン株/株北陸化成工業所/株本田ししゅう/丸進商事株/角マルタカ防災/株瑞穂/株ミヤシゲテクノ/株室屋/山辺事務機株/雄基工業株/株レクティオ

(50音順に記載)

セピア色の写真から

「絵と子どもたちに

愛の花を咲かせた教育者」

山達 雅美さん

(一九四一年)



を主演として互いに認め合う物語の劇を発表した。それを見たPTA会長が感動して「家の娘も養護でなく横田小へ通わせればよかった」と伝えてくれ、障害児と健常児が共に生きる大切さを共感した。この方が「手をつなぐ会」の中心メンバーであったことから、次の成美小学校でも、希望する子どもたちと一緒に絵や工作などの簡単な遊びを月1回行い、平成25年まで

続いた。

交流の場では、自ら遊び方を考えたいという子や皆が安全に遊べるようサポートしてくれる子などがいて、親御さんたちにも大変喜んでもらえた。

このことを通じ、様々な個性を持った人がいて世の中が成り立っているということを学び、中には福祉方面に進む子もいた。自分の能力を伸ばすことは、もちろん大切だが、このような交流を通じて心が広くなることを肌で感じてくれたことが嬉しかった。

【おしま手づくり絵本コンクールの審査員を引き受けて】

園児から高校生までの作品を13年間審査した。飛び出す絵本や手形を押しした絵本等の中に「泥玉が壊れて悲しい」と表現した作品があった。日常のありふれた光景だが、その子の気持ちを「そんなものくらい」と思わず、しっかりと受け止めた先生や親は素晴らしい。審査を通じて子どもたちの心に触れることができた貴重な体験であった。

【絵を通じて人の心に寄り添う】

今は、花をテーマに描いている。小学校へも寄贈しているが、その際には、「この花は誰々ちゃんかな、ちよっとしよんぼりしている子はこの花かな」「日に日に変わってもいいのよ、みんながいるから綺麗なのよ」と話しかける。そして「何が好き」と聞くと「私ソロバン、僕駆け足」など目を輝かせて話してくれる。絵を通して心が花を咲かせる瞬間だ。

【家族への感謝】

永い教師生活の間には、忙しくて帰るのが遅くなる日もあったが、夫と両親の協力があったからこそ勤められた。そして今も絵を描き続けられていることに感謝している。

【これから】

自分のできることを発揮できる場があればそれで嬉しい。これから絵を通じて多くの人と心が繋がっていられたら幸せだ。



「花の香」

キャンパスのサイズ
F100号 1620×1300

※手をつなぐ会…知的障害のある人とその家族、支援者により結成された会

【生い立ちと教員を目指したきっかけ】

昭和16年7月7日、富山市で三姉妹の長女として生まれる。4歳のころ富山大空襲に遭う。終戦後、父親の勤務先の高岡市に移り住む。やがて小学校時代の担任に憧れ、自らも教員を目指した。

【教員時代のエピソード】

夢を叶え、教師として初めて能町小学校に赴任した。放課後に「先生、まだ遊ぼう」となかなか帰らない子もおり、多くの楽しい時間を共に過ごした。時には、いじめられる子もいたが、叱らずに仲良くさせる作戦を考えた。勉強のできる子にその子の世話をしてもらい褒める。大縄跳びで一緒に手をつなぐ。そうして皆の心を一つにした。良い雰囲気づくりを心掛けることで、いじめは2週間で治まり、いじめられていた子も少しずつ前に進み始めた。

そんなある日、いじめられていたその子の俳句が全国規模の俳句大会で全国十選に入った。驚いて事務局へ問い合わせたところ、「この子はなんて綺麗な心を

持っているのでしょう」と感心された。僅かながらもその子への偏見ももっていた自分が恥ずかしくなった。

【先生が きれいに見える 参観日】

「先生、生まれて初めて賞状をもらいました」と伝えてくれたその親子と一緒に泣いた。本当に嬉しかった。

どんな子も大切に、褒めれば良いクラスになり、偏見もなくなる。以後の教訓となった。そして退職するまで多くの子どもたちと触れ合った。

一昨年、初めて担任した教え子との偶然の再会で、同窓会を開いてくれた。

皆それぞれの夢を形にして人生を歩んでいたことが嬉しく、50年経ち、大人となった教え子の前に「自分のやりたいことをできて偉い」と褒めた。教員をしてきたこそその喜びであった。

【手をつなぐ会との出会い】

横田小学校へ初めての女性校長として赴任した時、公開授業があった。その時3学年が、特別支援学級へ通級する児童



高岡市男女平等推進センター 活動登録団体紹介

クローバー会

現代は価値観や恋愛観も多様化し、結婚の形も変わりつつあります。結婚だけが人生においてのすべてではないかもしれません。でも、一人であるよりは誰かパートナーがいた方が楽しい時もあります。

昨日より笑うことが増えるが、一方、泣くことも悩むことも多くなり、普段の日常に変化が起こり、生活が少しずつ多彩な色合いになっていく。いままでとは違う世界が広がり、手を取り合って人生を歩んでいくことの愛しさを感じられるかもしれない。

そう願う方々のために、おいしい料理やステキな音楽、ダンスをしたり歌ったり会話を楽しむ時間を提供したい。結婚したい方もお友達を見つけない方にも楽しいひとときをお届けしたい。そう願ひ、企画しております。



富山CAP

CAP(キャップ)ってご存知ですか？

CAPとはChild(子ども)Assault(暴力)Prevention(防止)という意味で、いじめ、誘拐、虐待など様々な暴力から、子どもが自分で自分を守る予防プログラムのことです。プログラムを通して、暴力に遭った時また遭いそうになったら何が出来るかを子どもたちと一緒に考えます。子どもたち一人一人が「大切な人」であるという人権意識を育てます。子どもたちが生まれながらに持っている「生きる力」を引き出します。それをエンパワメントと言います。

CAPワークショップは学校や就学前の子どもたちにクラス単位で実施します。そして子どもに関わる大人対象のおとなワークショップも同時に開催します。CAP(キャップ)で大人も子どももエンパワメント！！

お問い合わせは toyamacap@gmail.com へ。

あなたのグループも男女平等推進センターに登録しませんか？

男女平等・共同参画の推進に関する活動を展開しようとする団体は、センターをグループ・団体の拠点として活用できます(交流スペース、活動用ロッカーの無料利用等)。

センターのホームページで、登録方法や上記以外の登録団体・グループも紹介しています。



相談室のご案内

相談室専用電話
(0766) 20-1811

●専任相談員が、DVや生き方、夫婦の問題などいろいろな相談を受けています。

【面接相談は、予約が必要です。】

●相談時間 月・火・水・金 9:30～16:30
 木のみ 14:00～20:00

※土曜・日曜・祝日・毎月第4月曜・年末年始は休みです。

編集員 ひとこと メッセージ

●石塚 美江

災害、防災、仕事、働き方、日々の生活に密接した大切な事を、編集を通じ、改めて考えさせられ有意義でした。

●大巻 裕子

わかっているつもりでいた事とわかっている事には大きな違いがあると実感しました。一つ一つの積み重ねが大事だと思いました。

●井波 清三

編集に関わり、時代の変化を振り返る機会を得て、今日の「団塊ジュニア世代～ゆとり世代」の現状を見て、改めて男女共同参画の必要性を実感しました。

●釣 優子

昨年は多くの自然災害に見舞われました。そのような年に防災士の方の言葉をお届けできたことに奇縁を感じます。

高岡市男女平等推進プラン情報誌「ありて」は、男女平等・共同参画の推進を目的に、公募による市民編集員が企画・編集しています。

ありて キャラクターデザイン：山崎 可菜さん



「ありて」の感想をお寄せください

- ◆QRコードから
 - ◆E-mail/gec@city.takaoka.lg.jp
 - ◆FAX/0766-20-1815
- いずれかの方法でお願いします。

※「ありて」のバックナンバーは、下記のホームページでご覧いただけます。

ホームページ/
<http://www.city.takaoka.toyama.jp/gec/kyurashi/kyodosankaku/center/index.html>